

2022年11月2日

報道関係各位

東京建物株式会社

冷凍仕様の自動倉庫で国内最大級 物流施設「T-LOGI本庄児玉」竣工 ～吉見グループ株式会社専用の冷凍自動倉庫として稼働～

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：野村 均／以下「当社」）は、この度、当社初の BTS 型物流施設※1 かつ国内最大級※2 の冷凍自動倉庫である「T-LOGI 本庄児玉」（埼玉県児玉郡上里町、延床面積約 15,612 m²／以下「本施設」）が本年 10 月 31 日に竣工したことをお知らせいたします。

本施設は、関越自動車道「本庄児玉 IC」より約 3.3km に位置し、都心部と郊外の生産拠点の両方にアクセスしやすい立地にあります。本年 11 月 1 日以降、吉見グループ株式会社（本社：埼玉県熊谷市、代表取締役社長：大久保 直政）専用の冷凍自動倉庫として稼働いたします。本施設は製品を自動搬送できるラックシステムを全面に設置し、約 28,000 パレット超を格納でき、冷凍仕様の自動倉庫としては国内最大級規模となります。自動化による省人化およびそれぞれの顧客の物流課題に対応する為、最先端の技術を導入しています。

なお、本施設屋上には、他の「T-LOGI」シリーズ同様に太陽光パネルを設置し、発電した再生可能エネルギーを施設内で自家消費する仕組みだけでなく、高効率の自然冷媒冷凍機※3 を導入することで、環境にも配慮しています。

当社は、消費者の生活形式の変化に伴う食品系 EC の伸長、老朽化施設の刷新、物流効率化に向けてのワールドチェーンネットワークの再構築等により、これまで賃貸倉庫として開発の少なかった冷凍・冷蔵倉庫の更なる需要増加に対応するべく、日本最古の総合不動産デベロッパーとして培ってきたノウハウを駆使して、今後も冷凍・冷蔵機能を有する先進的物流施設を積極開発してまいります。

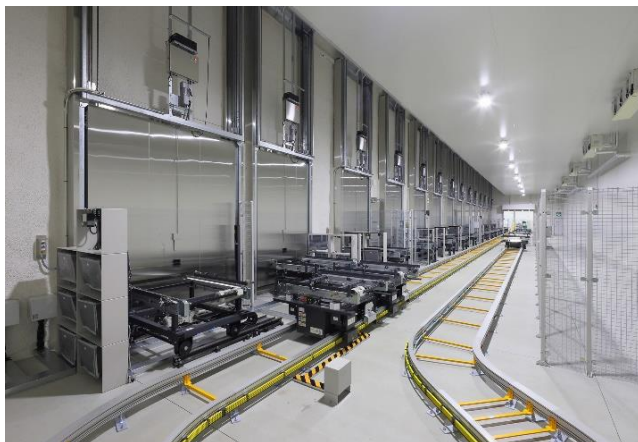


<「T-LOGI 本庄児玉」外観>

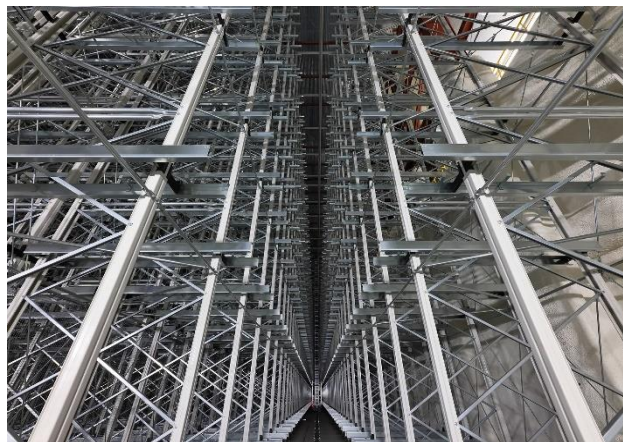
※1 Build To Suit の略で、特定のテナントの要望に応じたオーダーメイドで建設される施設のこと。

※2 国内の冷凍冷蔵倉庫のうち、パレット数において最大級となります。

※3 アンモニアや二酸化炭素等自然界に元々存在している物質を冷媒とする冷凍機のこと。自然冷媒は、オゾン層破壊係数がゼロで、代替フロンと比較しても地球温暖化係数(GWP)が非常に低く、環境に配慮した冷媒とされています。



<倉庫内：荷物を自動で運ぶレール>



<倉庫内：荷物を保管するための自動ラック>



<本施設内の事務所>

■吉見グループ株式会社様からのコメント

吉見グループ株式会社は、冷凍物流事業の推進に関し、東京建物様と戦略を共有し進めて参りました。「T-LOGI 本庄児玉」は、デジタル化、省人化および待機トラックを最小限に抑えた低炭素化に貢献する、持続可能な事業です。当社が持つ生活消費財流通のノウハウを活用し、永続的に東京建物様と価値観を共有しながら事業の経済価値、環境価値および社会価値向上を目指し、事業を推進して参ります。

左：吉見グループ株式会社 代表取締役会長 大久保和政様
右：吉見グループ株式会社 代表取締役社長 大久保直政様
中：当社 取締役専務執行役員 小澤克人



<「T-LOGI 本庄児玉」竣工後のエントランス前で>

■「T-LOGI 本庄児玉」の物件概要

竣工	2022年10月31日
所在地	埼玉県児玉郡上里町嘉美字立野南 1353 番 1、1530 番 2、1530 番 3
交通	関越自動車道「本庄児玉」IC 約 3.3 km
敷地面積	約 25,452 m ² (約 7,699 坪)
延床面積	約 15,612 m ² (約 4,772 坪)
規模	地上 2 階 (建築基準法上)
設計・施工	関東建設工業株式会社
構造	鉄骨造
耐震区分	新耐震

■位置図



<SDGs への貢献>

本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）における下記目標に貢献しています。

- 目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標 12 つくる責任つかう責任
- 目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう



以上

本日、この資料は下記の記者クラブに配布しています。
国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、埼玉県政記者クラブ、外食産業記者会

【本件リリースに関する問い合わせ先】

東京建物株式会社 コーポレートコミュニケーション部 山口、高村 TEL:03-3274-1984